

第2回

市民ワークショップの結果をお知らせします

6月4日（土）芋井小学校第一分校で、2回目の「芋井地区の公共施設について考える 市民ワークショップ」を開催しました。

今回、アドバイザーの前橋工科大学の 堤洋樹 准教授の進行で、第一部で「公共施設でしたいこと」を出し合いました。続く第二部で「したいことのために公共施設をどう利用するか」をテーマに、全グループが第一分校を選んで、分校のどこで何が出来るか話し合いました。参加いただいた皆さま、ありがとうございました。



小学校分校の中も見学しました



グループ討議のあと、堤先生からのアドバイスを聞きました

堤先生のアドバイスの一部をご紹介します

- ★「欲しいもの、あれば良いもの」を考えるのではなく、まず「したいこと」を考えてみよう。
- ★例えば、図書館が欲しいと思ったら、図書館で何がしたいのか？と考えてみる。
図書館で「本が読みたい」として、少し考えると「図書館でなくても本は読めるのでは？」と気づく。
何で本が読みたいのか？と考えてみると、「知識を得たい・勉強したい」とした場合、本が無ければ勉強できないのか・・・と考えていくと、施設ありきではない、本当に必要なサービスが見えてくる。
- ★公共施設は行政が作って管理するものだみんな思っている。しかし、公共施設は市民の税金で作る、市民のもの。だから、本来は市民が作って市民が管理するもの。それが出来ないから行政が代わりに管理していることに気づくと、公共施設マネジメントは自分の問題だと分かる。
- ★「市民対行政」ではなく、「市民＝行政」一緒に考える問題。
- ★地域全体で公共施設の活用を考えると、地域生活は良くなる！！

**7月2日は最終回。各グループの意見発表会です。
ぜひ会場の芋井公民館にお越しください。(14:00～)**



【お問い合わせ先】
行政管理課 公共施設マネジメント推進室
電話:224-8402

各グループから発表された「公共施設でしたいこと」 主な意見をご紹介します

【Aグループ】 人生の大先輩の皆さん

- ◆世代や地域を越えた交流がしたい。そのために、いろいろな人が興味を持ち参加できるイベントを開催したい
- ◆地域の郷土歴史もふくめて、勉強したい
- ◆キノコや山菜など、地域の特産物を「採る」「売る」「調理する」ことで楽しみたい
- ◆昔の早起き野球大会のように、地域で盛り上げられるスポーツ大会

【Bグループ】 地域のリーダー世代の皆さん

- ◆地域の歴史を学ぶ。地域の人と飲み会、懇親会、食事会したい
- ◆趣味（囲碁、将棋、カラオケなど）をみんなでやりたい。老人施設を設置したい。
- ◆地域外の人との交流。子どもたち、学校と交流したい。交流の中から新しい事業を考える
- ◆若い人に来てもらってコワーキングスペース（共同仕事場）を作りたい

【Cグループ】 働き盛りのお父さんお母さん

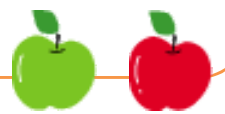
- ◆星や虫を鑑賞したい。バーベキューなどアウトドア活動をしたい
- ◆みんなで楽しくお酒を飲みたい。
- ◆大人がプールで泳げる場所があるといい。バレーボールやボートなどスポーツ
- ◆六次産業（一次産業である農林業が、加工・販売といった二次産業や観光など三次産業にまで踏み込むこと）を立ち上げたい
- ◆料理教室。サテライトオフィス（本社から離れて勤務できる場所）

【Dグループ】 子育て中の女性と地域おこし協力隊

- ◆神楽が一同に会する機会がほしい。音楽祭、芋井ズンチャカ
- ◆ドラム缶風呂＝芋井の湯
- ◆りんご品評会、たけのこのあく抜き会
- ◆リトアニアとの交流（一校一國運動）。パブリックビューイング
- ◆若者が集える空間が欲しい。宿泊体験させたい

【Eグループ】 信州大学工学部の学生の皆さん

- ◆ギネス記録への挑戦
- ◆利き酒大会。フリーマーケット。星空観察
- ◆キャンプ。虫取り、魚とり、バードウォッチング。写真撮影会
- ◆物々交換。文化体験。外国人に英語を習いたい
- ◆囲碁、将棋。陶芸
- ◆DIY（日曜大工など、自分でものづくりや修繕を行う）。農業体験



第2回目の様子は、
[インターネットテレビ「愛TVながの」](#)でご覧
いただけます。
(「愛TVながの」の
[HPへ外部リンク](#))

終了後のアンケートでは「分校の見学が出来て話が出やすかった。講師の先生の話が良かった。参加して楽しかった」といった声と「討議内容がどの程度具体化されるのか。自治協の案をどうするか討議したほうが建設的」といった声をいただきました。

3回目のワークショップでは、具体的な「公共施設の再配置」についてグループ討議を行い、4回目（最終回）に結果を発表していただきます。